

ふてきせつ とう きけん
不適切な投ごうの危険

SNSなどのインターネット上のサービスに、不適切な内容のものが投ごうされ、問題となることがあります。

不適切な投ごうの例

- ・電車の線路内に入った様子をさつえいした写真の投ごう



- ・けんかをしているところをさつえいした動画の投ごう




- ・店の中でめいわくなことをしているところをさつえいした動画の投ごう



不適切な投ごうをすると、こんなことに……



不適切な投ごうをすると、投ごうを見た人たちから、せめるようなコメントがたくさん送られてきます。インターネットには、不適切な投ごうをした人をこらしめる目的や、おもしろ半分で、投ごう者の個人情報を集める人たちがいます。こういう人たちに目をつけられると、問題の投ごうといっしょに、個人情報をインターネット上のいろいろなサイトにのせられてしまいます。そうすると、自分の名前を検さくすればそれらの情報が出てくるようになり、不適切な投ごうをしたことによる悪いいきょうを一生受け続けなくてはならなくなります。



インターネット上の投ごうや個人情報いろいろなサイトにのせられると、すべてを消すことができず、必ず情報が残り続けてしまいます。そのことから、一度体に入れると消すことがむずかしいタトゥー(入れずみ)に例えて、「デジタルタトゥー」とよばれています。

「ふだんの生活の中でダメことは、インターネットの世界でも絶対ダメ。」

また、友だちが不適切なことをしようとしているときは、いっしょになってやらずに止め、おもしろがってその様子をインターネットに投ごうしないようにしてください。さらにインターネット上で不適切な投ごうを見つけても**「サイトにのせたり、友だちに送ったりしない」**ようにしましょう。

保護者のみなさんへ

不適切な投稿が個人情報と共に拡散されると、進学や就職にまで悪影響が及ぶ可能性があります。子どもたちが不適切な投稿をしないように、「親に見せられないものは投稿しない」など「各家庭ルール」を作ってください。